



いませ まさし

今瀬 政司 准教授

担当授業科目

- ◆ ボランティア論
- ◆ ボランティア体験
- ◆ 企業経営研究1
- ◆ 地域活性化論 (ベンチャー企業論)
- ◆ ゼミナール I 前・I 後・II・III・IV

私の夢

「世の中の矛盾で涙を流す人が一人でも少なくなるような社会をつくること」

これが、物心ついた頃からの私の夢です。きっかけは、保育園の先生の言葉でした。「私たちは平和で幸せに暮らしているけど、遠くの海の向こうでは、たくさんの人たちが戦争で死んでいっているのよ」と。幼少ですから、他のことは殆ど何も覚えていませんが、その先生の言葉だけは、はっきりと覚えています。



北海道・知床の「カムイワッカ湯の滝」にて

私の歩み

「研究・教育と現場の実践活動」の両立  
「仕事とボランティア活動」の両立

- ◎ 学生時代 (法政大学) に留学生支援のボランティア活動をする。
- ◎ 大学を卒業し会社に就職して以来、いま現在に至るまで、「仕事とボランティア活動」の二足のわらじ生活を続ける。
- ◎ 仕事の歩み
  - ・ 1991年～2002年 株式会社大和銀総合研究所 (現りそな総合研究所)
  - ・ 2002年～現在に至る NPO法人市民活動情報センター (代表理事)
  - ・ 2013年～現在に至る 長岡大学経済経営学部 (准教授)



まちづくり国際シンポジウム In マレーシア・ペナン

趣味はボランティアと旅

- ・ 全国47都道府県に、仕事とボランティア活動と遊びで訪れています。

私のいまの社会貢献活動 主に例えば・・・

- ◎ 国や自治体、市民への政策提言の活動
- ◎ 霞ヶ関 (国) と全国各地を信頼の絆でつなぐ活動
- ◎ 自治・協働推進、地域づくりの活動 (大阪、新潟、福島など)
- ◎ 沖縄の経済振興や基地問題解決などの活動
- ◎ 町並み保存の活動 (奈良など、アジア)
- ◎ 島おこしの活動 (神津島など)      ◎ 災害応援の活動 (東日本大震災など)



東日本大震災とボランティア活動

私のめざす社会貢献活動のあり方

- ◎ 社会 (人) の痛みを理解し主体性を持って取り組むこと
- ◎ 「何のために」の原点に常に向き合うこと
- ◎ 違いを尊重し、分かり合うこと
- ◎ 否応なく対立したときでも、相手を思いやる心を忘れないこと
- ◎ 社会・地域には必ず種・芽があると「信じぬく」こと
- ◎ おかしいものはおかしいと腹をくくって言えること
- ◎ 自己否定・自己改革する勇気を持つこと
- ◎ 公的資金を使う場合には市民還元・社会還元を大事にすること

メッセージ

＜学生の皆さんへ＞  
視野を広く持ち、学問とともに、社会の中で「生き抜く力」を培ってってもらえるように、お手伝いができればと思っています。  
「これが私だ」「これが俺だ」というものを持って下さい。一緒に次代を切り拓き、社会に希望を照らせるようになればと思っています。